



中間市ボランティアセンターに登録されている団体を紹介し、趣味や特技を活かして活動されています。



## ボランティアさん紹介 こんな活動やっています 第6回

## 読み聞かせボランティア 「おはなしの種」

平成13年6月に子ども達へ絵本の大切さ、楽しさを伝え、心身共に健やかに成長してもらえるようにという思いで設立されました。毎週水曜日の朝、中間南小学校で絵本の読み聞かせを行って、子ども達の心に種をまき、生きていく力になればいいなと楽しみながら活動されています。  
現在会員数 17名



読み聞かせの様子を取材させていただきました



### 対面 → 放送へ

コロナの影響で教室での絵本の読み聞かせが難しいため、こちらの放送室から各教室へお話を届けています。

### 放送室の中では

本番に向けてリハーサル開始です。  
上手に映ってるかな？  
本日の絵本は『ウェズレーの国』です。



### 教室では

子ども達はこんな感じで教室のモニターに映し出される映像とボランティアさんの声で絵本を楽しんでいます。

### 会員さんの声

♡「コロナで今は対面での読み聞かせができない状況ですが、普段は会員が一人ずつそれぞれの教室に入って読み聞かせを行っています。読み終わると子ども達が寄ってきて感想を言ってくれます。日々、子ども達と直に接することで反応を感じ、元気をもらい私の活動源になっています。」

♡「入学式の日にはチラシを見て、わが子の頃には仕事もあり子ども達に関わることができなかつたので、せめて孫にでも…。と思い参加しました。楽しくやらせていただいています。」

活動を続けていくうえで、全クラスに読み聞かせに入ってもらえるよう、毎年、入学式にボランティア募集のチラシを配布するなどして、メンバーが途切れなないための積極的な努力もされています。

### 体験談

お店で販売の仕事をしていた会員さん。ある日、買い物に来ていた中学生の兄弟がチラチラと見ているので『私、この子達と接点ないなあ』でも（何かなあ？）と思い「おばちゃんのこと知ってるの？」と声をかけました。「うん」との返事。「なんで？」と尋ねると「読み聞かせのおばちゃんだよね？」と言われました。「あっ！顔で分かったの？」と問いかけると「声で分かった!!」と返ってきたのですごく感激して「ありがとう。おばちゃん嬉しいよ♡」と言ったのを覚えています。と、読み聞かせを聞いていた子ども達との思いがけない出来事を話してくださったメンバーさん。  
この経験から『声って人の心に残るんだなあと思ったので、読み方や話し方など、これからも大事に伝えていきたいと思っています。』と語られました。

### 募集しています！

特技や得意分野などを登録しませんか？ボランティア活動をしてみようと思う方、また、ボランティアをお願いしたい方はお気軽にボランティアセンターまでお問い合わせください。  
登録数：団体 28、個人 35名

発行 / 中間市ボランティアセンター ※ 休館日

電話 / 093 (246) 2184 土・日・月・火・祝日

住所 / 中間市通谷1丁目36番10号 (ハピネスなかま1階)